



世界へのプレゼントになろう



守口ロータリークラブ 週報 No. 39

青少年奉仕月間



ハートか印か

2015-16・RIテーマ

本日のピアノ演奏

1. ラルゴ 2. スーパースター 3. 風のとおり道

本日例会 2016年05月18日(水)
(第2671回)

「自己紹介」
佃 啓史 会員
担当：親睦活動委員会

次回例会 2016年05月25日(水)
(第2672回)

「ロータリー米山記念奨学事業のいま」
地区米山奨学委員会 委員
石谷 隆子 会員
担当：米山奨学委員会

出席報告

例会日	出席	欠席	出席率
05月11日	32 (内免除者3名)	6	82.41%【会員41名】
04月20日	31 (内免除者2名)	メークアップ2名	(79.49%)

前回例会 (2670回) 05/11の主な内容

◎お誕生日お祝い

中島警子会員 村田有司会員 博多尚文会員



◎ 幹事報告 (廣瀬幹事)

1、熊本・大分地震災害義捐金は41,000円でした。ガバナー事務所に送金いたしました。
2、次の例会からは、クールビズと言うことで軽装でご出席下さい。



ニコニコBOX S・A・A

石井 会員 山川草木、皆新緑の好季節を迎えて。
石橋 会員 菊田会員。先日、お世話になりました。
川村 会員 ちょっと嬉しいことがありました。

5/11ニコニコBOX 1,049,000円

■ 会 長：川 村 弘 和
■ 幹 事：廣 瀬 彰 久
■ 広報雑誌・会報委員長：他 谷 勝

URL : <http://www.moriguchi-rc.jp/>

■ 例 会 場：ホテル・アゴーラ大阪守口 守口市河原町10-5
TEL (06) 6994-1111 (代表) 〒570-0038
■ 事 務 所：守口市河原町10-5 ホテル・アゴーラ大阪守口5F 〒570-0038
TEL (06) 6994-0010 FAX (06) 6994-0009
■ メールアドレス：info@moriguchi-rc.jp
■ 例 会 日：毎週水曜日 12時30分～13時30分

◎会長の時間

(会長 川村 弘和)



皆様お久しぶりでございます。ゴールデンウィークも終わり新緑の季節になりました。これから1ヶ月ほどは、気持ちの良い季節です。

今月のロータリー特別月間は「青少年奉仕月間」です。ロータリーアクトの戦略計画のお話をさせていただきます。

当クラブは、ロータリーアクト提唱クラブです。昨今、守口ロータリーアクトクラブは消滅の危機に直面しております。原因はなにか、

①ロータリークラブが提唱していることの責任感が薄れていることです。ロータリーアクトの例会に参加したり、ボランティア行事に参加したり、親睦会に参加をして、かわりを持つことが余りにも少ないです。

(～次ページへ続く～)



卓 話

守口市門真市消防組合
守口消防署 署長
消防監 日比 敏夫 様



「大規模地震災害減災対策の取組みと
消防概況及び予防救急について」

ただ今 ご紹介いただきました守口消防署の日比でございます。

平素から消防行政推進に深いご理解と多大なるご支援を賜わり誠にありがとうございます。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。また、本日は、このような貴重な機会をいただき誠にありがとうございます。

(～次ページへ続く～)

◆◆◆委員会報告◆◆◆

○国際奉仕委員会 (水谷副委員長)
渡比報告 (吉川会員・水谷会員参加)
渡比期間 (4月30日～5月6日)

○観劇・グルメ同好会のご案内
●観劇 (なんばグランド花月)
●食事 (梅の花本町店)

日 程 : 6月18日 (土)

集合時間 : 15時15分

集合場所 : なんばグランド花月1階正面入り口

参加費 : 10,000円

(先着20名様まで)

◆◆◆第11回理事会◆◆◆

日時 : 5月11日 (水) 11 : 30～

場所 : 「事務局」出席 : 12名

議題 : 守口市新庁舎名板の件

・田中修二会員退会の件

・戦略計画委員会提言の件

・新会員入会候補者について



四つのテスト

●言行はこれに照らしてから ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

◎会長の時間

(～前ページからの続き～)

②ローターアクトは年齢制限があり30歳で卒業します。会員増強をロータリークラブ会員が協力しなければアクトのメンバーだけの増強では増えません。

例えば、今年度の様に、会社の社員を入会させたり、佐々岡会員の会社の社員2名を入会させて頂いたように、当クラブの会員の会社の社員を含め親戚縁者、友人知人を、積極的に紹介をする。

一方、守ロイブニングRCが提唱するインターアクトクラブ(大阪国際学園高校)との連携を模索していかねばならない。今年度一度、イブニングロータリーの例会に活動報告に来た時に、ローターアクトの西川会長と永石君と私でメイキャップし例会後少し懇談を行ないました。もっと連携を深め、インターアクト卒業すれば、ローターアクトに入会する流れを作れば安定する。

③ローターアクトの例会の内容や活動や海外研修などの参加など魅力のあるものにする努力を青少年ローターアクト委員会が指導して行かなければならない。

以上、これも“ビジョン60”の5ヶ年計画に入れたと思います。

今日の一句

大型連休掛けて円安、株安ととく その心は、
～続くほど会社社長は頭が痛い。

卓 話

(～前ページからの続き～)

守ロロータリークラブの皆さまの活動の参考にさせていただければ幸いです。

研修の前に先月発生いたしました[平成28年度熊本地震]で亡くなられた方々へ哀悼の意を表すとともに被災された方々へ心からお見舞い申し上げます。今回の熊本地震に対して本消防組合が派遣いたしました緊急消防援助隊に関する活動内容などについて、少しお話しさせていただきます。

緊急消防援助隊は大阪府大隊の一員として第一陣は陸路で4月16日の土曜日に出発し20日の水曜日まで活動を行い、次に第二陣はフェリーにて4月19日の火曜日出発し23日の土曜日までの8日間に救助工作車及び救急車の計2台と延べ16名の救助隊員と熊本南阿蘇村立野地区などに派遣いたしました。派遣先では余震が続くなかでの倒壊家屋などの行方不明者の救助及び救急活動を行ってまいりました。

守ロロータリークラブの皆さまにおかれましても、各方面を通じてご支援の輪を広げていただいているものと思います。

さて、私たちが住む守口市に目を向けますと近い将来甚大な被害が想定される南海トラフ地震が発生すると言われています。

守口市地域防災計画におきましては、災害対策基本法に基づき災害時の被害を最小化し被害の迅速な回復を図る「減災」の考え方を防災の基本理念に据えられています。

本消防組合といたしましては、市民や管内勤務者などの視点に置いた活動をこれまで以上に積極的に進め防災・減災に関する知識や技術の習得に繋げ「自分は自分で守る」・「家族、企業や地域コミュニティで共に助け合う」という自助・共助の強い意識を持っていただき効果的な活動を実施していただくために、

- 1 住宅密集地の自治会及び自主防災組織、
- 2 消防団、
- 3 事業所、
- 4 学校関係

の4つに区分してきめ細かく各関係団体に即した指導が出来るよう「大規模地震災害減災対策マニュアル」を作成いたしました。

この大規模地震災害減災対策マニュアルは「減災」に対する重要性や行動パターン、また初期消火、自動車のジャッキやパールによる救出・救助及び身近にある毛布やシーツなどを使用しての傷病者の搬送法などこれまでの防災・減災に関する知識面の指導に加え、実技面を実施するなど具体的な活動内容が示されています。

今後は、この大規模地震災害減災マニュアルに基づき各関係団体への指導の行動計画を作成し実施してまいりますのでご協力のほどお願いいたします。

次に、平成27年の消防概況に関しましては、火災件数は守口市が24件、門真市が37件の合計55件で平成26年より8件減少し、昭和57年の171件から減少し、この10年の平均火災件数は81件となっております。火災件数は、ほぼ横ばいで緩やかに減少傾向が見受けられます。出火原因の1位は「放火(疑い含む)の21件で2位が「こんろ」の7件、3位は「たばこ」と「ストーブ」が同じ件数の4件と出火のワースト3だけで全火災の65.5%を占めております。

一方で救急件数は年々増加しており平成26年より175件増加の16,071件で1日約44件発生しています。なお、救急件数は右肩上がりの状況で過去最高件数を更新し、これからも高齢者人口の増加や核家族化の進展などの社会構造の変化に伴い増加すると予想されています。

このような状況から、本消防組合では、お手元にある「あっ!!と思うその前に・・・予防救急ハンドブック」に掲載されています「予防救急」を展開しています。ハンドブックには家庭内転倒・転落・入浴中の事故や火傷(熱湯)、また熱中症、急性アルコール中毒や食中毒、心筋梗塞や脳卒中など生活習慣を見直し未然に予防ができるよう、また日頃から心がけて注意、意識して行動していただき、救急車を必要とらない予防救急をお願いいたします。

なお、救急車が必要な場合であれば躊躇せずに119番で救急車を要請して下さい。火災の場合も同様ですのでよろしくお願いたします。

こうした予防救急はキャンペーンや救急講演会をはじめとし本消防組合のホームページや市広報紙などで広く市民への普及啓発を行い救急要請の減少につながる取組を行っています。具体的な予防救急に関しましては、お配りしていますハンドブックに詳しく説明されていますのでご覧ください。また、救急に関する相談などについてもハンドブックの14ページに掲載されていますので併せてよろしくお願いたします。

最後に消防といたしましては「火災のない明るい町づくり」のため職員一丸となって日夜努力してまいりますので何卒これからもご協力ご支援のほど重ねてお願申し上げます。

本日はありがとうございました。